I-O DATA

MANUJ000440

取　扱　説　明　書

4K対応55型ワイド液晶ディスプレイ
LCD-M4K551EQシリーズ

HDMI

ご注意：二人以上で用意・設置する

一人での用意・設置は、けが・本製品の故障の原因になります。

もくじ

表面
- 添付品を確認する
- 本製品を取り出す
- 台座を取り付ける
- つなぐ
- 使う

裏面
- 使う（つづき）
- 困ったときには

添付品を確認する

- □ 台座（左右 各1個）
- □ 台座取付用ネジ（4本）
  ※ ネジに合ったドライバーをご用意ください。
- □ HDMI ケーブル
- □ DisplayPort ケーブル
- □ 電源コード
- □ リモコン・動作確認用電池

・電池をセットする際は、リモコンの裏ブタを開け、単4形乾電池を2本入れます。
・添付の電池は動作確認用です。早めに新しい乾電池に交換してください。

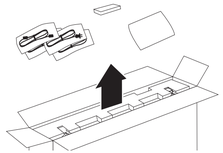
- □ 転倒防止金具一式
- □ シール（1枚：本体の印字を隠せます）
- ☑ 取扱説明書（本書）
- □ 必ずお読みください

本製品を取り出す

取り出し時・取り付け時・調節時のご注意

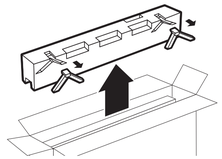
液晶パネル（表示面）が故障または破損する原因になります。
- ●本製品を床などに落とさない
- ●液晶パネルを傷つけない
- ●液晶パネルを手で押さえない

1 台座以外の添付品をすべて取り出す



2 上の緩衝材を取り出し、台座を取り出す

※この緩衝材は手順5で使います。

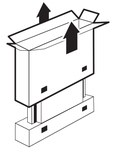


3 ロックを外す（側面の下4か所）



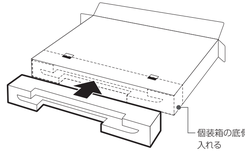
※反対側にも2か所あります。

4 ダンボールを引き抜く

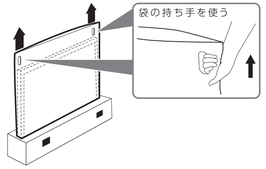


5 引き抜いたダンボールに緩衝材を入れる

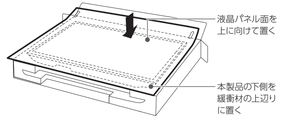
※ 緩衝材は手順2のものを使います。



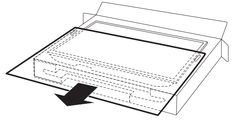
6 本製品を持ち上げる



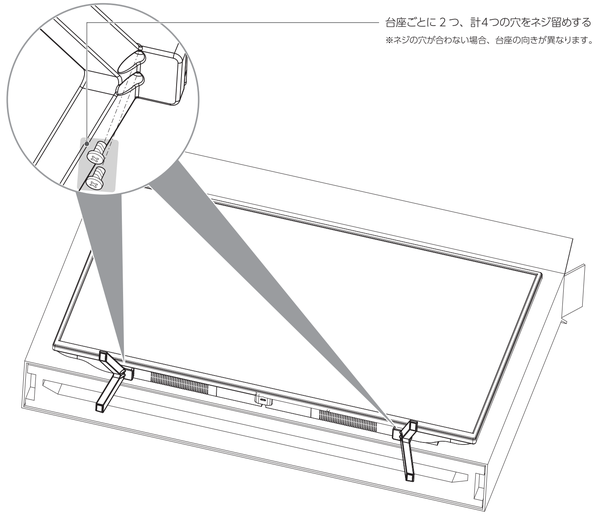
7 本製品を手順5の個装箱の上に置く



8 袋を引き抜く



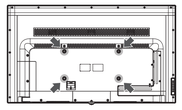
台座を取り付ける



ディスプレイスタンド（VESA）に取り付ける

- ●固定用ネジ：M6×10mm
  （ディスプレイスタンドの金具の厚みにより異なる）
- ●本製品質量：約17.2kg（台座除く）
- ●VESAマウントインターフェース：400mm×200mm
- ●締付けトルク：1.3～1.7N·m（13～17kgf·cm）

※ドライバーを使ってネジを締付けてください。スパナーなど他の工具で締付けると、ネジ穴が破損する恐れがあります。



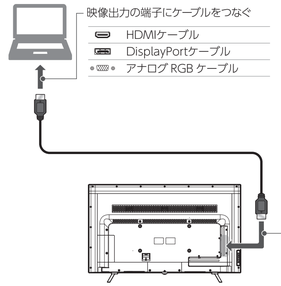
必ず転倒対策をしてください

本製品は大きな地震などの際には倒れる危険があり、それにより大けがをするおそれがあります。
添付の転倒防止金具を使うなど、必ず転倒対策をしてください。

※ 添付の転倒防止金具の取り付け方については、別紙「転倒防止金具について」をご覧ください。

つなぐ

1 パソコンや映像機器とつなぐ



映像出力の端子にケーブルをつなぐ
- HDMIケーブル
- DisplayPortケーブル
- アナログ RGB ケーブル

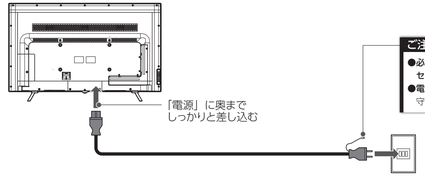
映像入力端子とつなぐ
- HDMI 1/2/3
- DisplayPort
- アナログ

※ 動きが速いゲームや映像を 4K 表示で扱う場合、HDMI1 か DisplayPort につないでください。
※ アナログにつないだ場合、別途映像機器から音声を出力してください。本製品にアナログ用の音声入力はありません。

映像入力端子と解像度

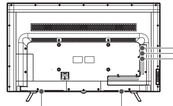
映像入力端子	最大解像度	
HDMI1	3840x2160	(60Hz)
HDMI2/3	3840x2160	(30Hz)
DisplayPort	3840x2160	(60Hz)
アナログ	2048x1152	(60Hz)

2 電源コンセントとつなぐ



ご注意：アースについては以下を守る
- ●必ずアースをつないでから、電源プラグをコンセントにつなぐ
- ●電源プラグを抜いてから、アースを外す
  守らないと、発火・感電の原因になります。

その他の機能について



ヘッドホンをつなぐ
※ヘッドホンを耳に付けたままつながないでください。

光デジタル音声出力：サウンドバーやスピーカーとつなぐ
本製品は光デジタル音声入力に対応しているサウンドバーやスピーカー、アンプなどとつなぐことができます。
機器を「光デジタル音声出力」につないでください。
※ PCM 出力のみ対応

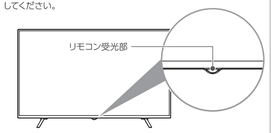
通常使用不可
システム更新時だけに使います。
※システム更新については、『詳細ガイド』（本紙【使う】内のコラム参照）をご覧ください。

使う

本製品は、添付のリモコンを使って操作します。

リモコンの操作範囲

リモコンの受光部は前面中央下部にあります。
リモコンを受光部に向けて **5m 以内かつ上下左右に 30° 以内**で操作してください。



本体のボタンで操作する場合

背面左下のボタンを押して操作できます。
左手を背面に回し、人差し指などで操作します。
※ 電源を入れる / 切るには、一番下のボタンを押します。
　その他の操作をするには、一番下以外のボタンを押して画面の説明をご覧ください。



設定変更を防止する（メニューロック）

本体ボタンで設定変更されないようにできます。
操作　下から3番目（メニュー）のボタンを3秒間押し続けてください。
※解除する際も、同様に操作してください。

詳しくは『詳細ガイド』をご覧ください

https://www.iodata.jp/lib/manual/lcd_226923/

裏面に続く ▶

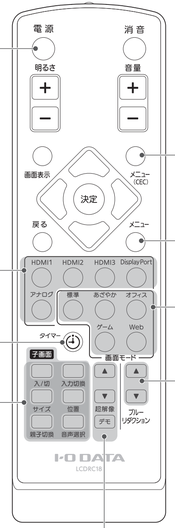
使う（つづき）

電源を入れる／切る（電源）

電源ランプについて

青点灯	電源入
オレンジ点灯	節電状態
消灯※	電源切

※ 設定によっては、電源入や節電状態でも消灯するようにできます。



HDMI 機器をリモコンで操作する（メニュー（CEC））

HDMI ケーブルでつないだ機器を、本製品のリモコンで操作することができます（CEC 機能）。

表示する映像を切り換える（入力切換）

※ 子画面の映像は、「子画面」枠の［入力切換］で切り換えます。

詳細な設定をする（メニュー）

メインメニューを開いて、様々な設定をします。

指定時刻に電源を入／切する（タイマー）

曜日ごとに電源入／切の時刻を設定できます。

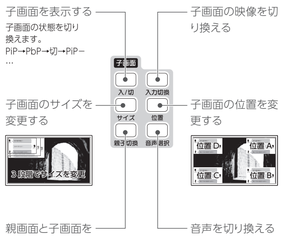
※ 本体の時刻設定が必要です。

用途に応じた表示に切り換える（画面モード）

細かな設定をしなくても 画面モードを切り換えるだけで、見やすく美しい映像を表示することができます。

子画面を使う（子画面）

通常の画面（親画面）とは別で、他の入力の映像を「子画面」として表示できます。



ブルーライトを低減する（ブルーリダクション）

パソコンで作業をする際に目が疲れる原因とされるブルーライトを低減させます。

映像をくっきりと表示する（超解像）

映像の解像感を高め、映像の輪郭をくっきりと表示します。
解像度の低い動画を見るときなどに、映像のボケを低減します。
デモ：画面の半分だけに超解像処理した映像を表示します。
超解像の効果を確認するのに使います。

PiPとPbP

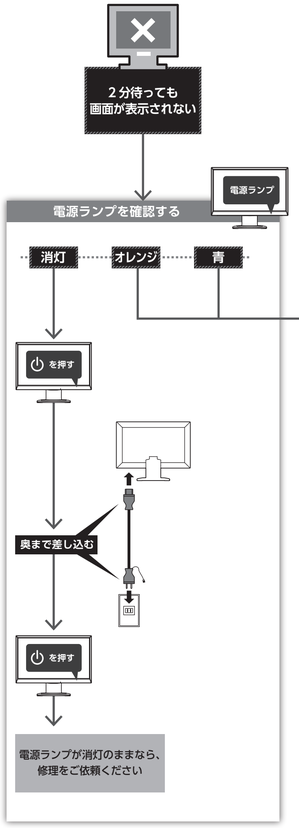
PiP
親画面内に子画面を表示します。



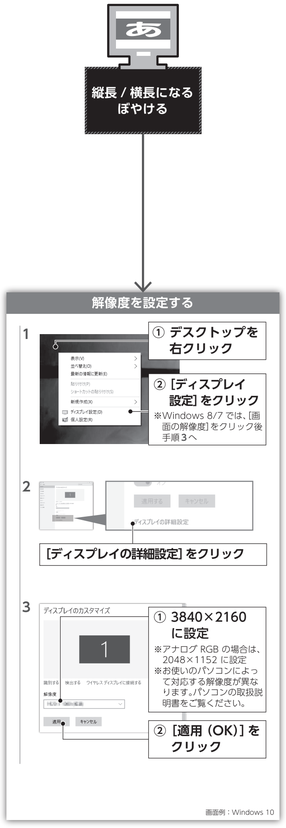
PbP
親画面と子画面を並べて表示します。
※［サイズ］［位置］は機能しません。



困ったときには







ドット抜けがある（赤や緑などの動かない点がある）

液晶パネルが 0.001 %未満の画素欠けや輝点を持つことによるもので故障ではありません。
修理交換対象になりませんので、ご了承ください。

音が出ない

- HDMI や DisplayPort でつないでいる場合
  Windows
  ① 通知領域のスピーカーアイコンを右クリック
  ② ［サウンド］をクリック
  ③ ［再生］タブをクリック
  ④ 本製品を選び、［規定値に設定］をクリック
  macOS
  ① システム環境設定の［サウンド］をクリック
  ② ［出力］タブをクリック
  ③ 本製品を選ぶ
- アナログでつないでいる場合
  本製品にアナログ用の音声入力はありません。別途映像機器から音声を出力してください。
- 機器側の音量を確認してください。
- 本製品の音量を確認してください。
- ヘッドホンをつないでいる場合、本製品のスピーカーから音は出ません。

残像が出る

- HDMIの場合、以下をお試しください。
  ・機器を 60Hz 表示に対応している HDMI 1 につないでください。
  ・メインメニューの［HDMI］→［HDMI1 EDID］を選び、［2.0］に設定してください。
- DisplayPort の場合、メインメニューの［DisplayPort］→［DP バージョン］を選び、［1.2］に設定してください。
- メインメニューの［表示］→［オーバードライブ］を有効に設定してみてください。
- つないだ機器が 60Hz の表示に対応しているかご確認ください。

映像が乱れる

- HDMIの場合、メインメニューの［HDMI］→［HDMI1 EDID］を選び、［1.4］に設定してください。
- DisplayPort の場合、メインメニューの［DisplayPort］→［DP バージョン］を選び、［1.1］に設定してください。

※設定変更することで 4K 表示時は 30Hz (30p) に制限されます。60Hz 表示が必要な映像では残像が発生する場合があります。

Windows でアイコンや文字の大きさを調節したい

こちらをご覧ください。

解決できなかった場合は …

1 WebのQ&Aもチェック

https://www.iodata.jp/support/qa/lcd/

2 サポートセンターにお問い合わせ

別紙［必ずお読みください］をご覧になり、サポートセンターにお問い合わせください。
※ 修理に関する内容も記載しております。

■VCCI 規格について
この装置は、クラスB機器です。この装置は、住宅環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。
VCCI-B

■高調波電流規格について
高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 適合品

【マニュアルアンケートはこちら】
お気づきの点がございましたらアンケートにご協力願います。

［商標について］
●記載されている会社名、製品名等は一般に各社の商標または登録商標です。
●HDMI、HDMI のロゴ、High-Definition Multimedia Interface は HDMI Licensing Administrator, Inc. の商標または登録商標です。